

健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術の明確化に関する研究

アクセスありがとうございます。

あなたの考える、新たな感染症への対応を中心とした健康危機管理の際に、統括保健師が「総合的なマネジメント力を発揮するために必要とされる技術」として妥当と思う項目をお聞きします。研究班の整理した、49の技術項目それぞれについて、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から一つ選んでください。
ご自分の立場や配置されている部署、実践できたか否かに関わらず、統括保健師として必要な技術（基本的に備えておく必要がある技術）としてお答えください。

回答期限 2023年11月15日(水) 24時 → 11月25日(土) 24時 ※延長しました

説明・依頼書をご覧ください、調査協力に同意をいただける場合には「次へ」ボタンで進んでください。
回答をもって調査への同意を得たものと判断させていただきます。

調査内容については以下のPDFをご参照いただけます。
なお、**回答は一時保存ができません**ので、あらかじめ調査内容をご確認の上、回答する内容を整理してから入力いただくことをお勧めします。

[○調査対象者の方への説明書（はじめにお読みください）（PDF）ダウンロード](#)

[○調査項目一覧（Excel）ダウンロード](#)

次へ

回答される方についてお尋ねします。

* 1. 所属自治体の種別を教えてください。

- 都道府県
- 政令指定都市
- 特別区
- 中核市
- 保健所設置市

* 2. 回答者の現在の所属を教えてください。

- 本庁
- 保健所
- 保健センター
- その他(具体的に)

* 3. 所属保健所の管内人口(併任の方は主たる所属の管内人口)を教えてください。

- 50万人以上
- 20万人以上50万人未満
- 10万人以上20万人未満
- 5万人以上10万人未満
- 5万人未満

* 4. 回答者の立場を教えてください。

- 統括保健師(事務分掌等に明記あり)
- 統括保健師(事務分掌等に明記なし)
- 統括的な役割を担う保健師
- その他(具体的に)

* 5. 現在の職位を教えてください。

- 部局長級
- 次長級
- 課長級
- 課長補佐級
- 係長級
- 係員

* 6. コロナ関係業務への関与を教えてください。
(最も関わっていた時期について回答ください)

- かなり関わった
- 多少関わった
- ほとんど関わらなかった
- その他(具体的に)

* 7. 保健師としての経験年数を教えてください(単位:年) ※半角数値を入力

* 8. 保健師としてのキャリアレベルを教えてください。

- 管理期
- 中堅期
- その他(具体的に)

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

都道府県の本庁の統括保健師の方にお尋ねします。

* 所管の保健所数(本調査票を転送いただいた数)を教えてください。
(単位:か所) ※半角数値を入力

※お手数ですが、依頼文にあります様に、都道府県の本庁の統括保健師様から保健所の統括保健師様へ、全国保健師長会調査研究事業の2023年度 (<http://www.nacphn.jp/03/>) のアドレスをメール等で送付していただき、調査協力のご依頼をお願いいたします。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (A)

以下のそれぞれの項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* A.<組織マネジメント>に関する項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
1. 地域住民の暮らしを守るため、個別支援活動や保健事業等の公衆衛生看護活動の優先順位を判断し自組織の方向性を決定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 新たな感染症への対応力向上に向けた、課・系の組織を越えた保健師同士の支援の仕組みの構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 新たな感染症対応における保健師以外の職種への業務移行の可否を判断	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. チーム一丸となって業務に取り組める様、職員のモチベーションをあげ、活性化させるリーダーシップの発揮	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 自治体内の各種会議の開催・参加による感染症対応の情報共有と方向性の確認による全所（全庁）体制構築の補佐	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 保健所長など指示命令を担う者の補佐・遂行に向けた調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<組織マネジメント>に関する1~6の項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。
また、1~6以外に必要とされる技術がありましたら、ご記入ください。

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (B)

以下のそれぞれの項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* B.<業務マネジメント>に関する項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
7. 新たな感染症対応の進捗状況を把握し、業務の優先順位を整理し判断	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 新たな感染症対策において、常勤保健師が主として担うべき専門的業務を見極め優先的に配置	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 保健師の業務負担を考慮した上で、自治体全体を視野に入れた業務調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 公衆衛生看護の専門的判断を要しない感染症対応業務への人材（派遣看護師等）活用の判断・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 変化する局面を捉え、先を見据えた業務（電話相談、疫学調査、PCR検査所の設置、クラスター発制、健康観察など）遂行のためのチーム編成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. 所内全体の感染症対応業務の進行状況の情報共有と業務量の可視化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. 過重な業務量・業務時間を把握し状況に応じた勤務体制の変更等による軽減策の提示（勤務基準の作成など）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14. 職員の業務負担の軽減と効率化に向けた感染管理業務のデジタル化を進めるための調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15. ICT（HER-SYS、電子カルテ等）の活用を推進するため、保健師等看護職の研修機会の確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16. 新たな感染症対応を機に保健師に求められる役割を可視化し、自治体における保健師活動の理解を図る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17. 新型コロナウイルス感染症に係る保健活動で得られた知見を活用した今後の健康危機管理対処計画等の策定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18. 感染症対応のための物的・人的資源の確保に向けた予算の調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19. 効率的・効果的に業務が遂行できるための所内の物理的環境の提案（例：ヘッドセット購入、AVモニターの設置、換気対策等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20. 応援者が役割を発揮できる様なマニュアル作成やオリエンテーション等の遂行を管理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21. 自治体内（所内）で不足する保健師を大学や地域の関連施設等から確保、勤務管理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22. 外部の専門家人材（感染症認定看護師や、実地疫学調査専門チーム等）の導入の判断と調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<業務マネジメント>に関する7～22の項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。
また、7～22以外に必要とされる技術がありましたら、ご記入ください。

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (c)

以下のそれぞれの項目について、
「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* c. <地域マネジメント>に関する項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
23. 感染症以外のケアニーズを見逃さず、支援が届く体制の構築（公正な対応）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24. 感染者の孤立予防のための関係機関との支援体制の構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
25. 地域住民へ感染症に関する正しい知識・情報の伝達のための区市町村との協力体制の構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
26. 地域の関係団体・医療機関等の対応状況の把握及び対策への反映	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
27. 新たな感染症対応が可能な医療・福祉機関を発掘し、患者の受入れやクラスター対応等への協力に向けた交渉・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
28. 地域全体の感染対応力の底上げのため、クラスターリスクがある施設への感染管理対応力向上に向けた支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
29. 医師会や管内医療機関等との信頼関係を基盤とした、自宅療養者の医療支援体制の構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30. 新たな感染症対応後の継続した連携協働体制を見据え、地域の看護職団体・施設（助産師会や訪問看護ステーション）への業務委託等の提案	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
31. 新たな感染症対応を契機に感染症の地域ケア体制構築に向け、保健医療福祉機関との密なネットワークを構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<地域マネジメント>に関する23～31の項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。
また、23～31以外に必要とされる技術がありましたら、ご記入ください。

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (D)

以下のそれぞれの項目について、
「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* D.<情報マネジメント>に関する項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
32. 国内外の感染症の動向と、国の方針および他自治体や保健所の対応を把握し自組織の対策に生かす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
33. 感染状況の可視化に向けた疫学的な分析のための情報収集と資料化を指示・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
34. 感染者が偏見・差別にさらされないように、個人情報保護や権利擁護のための組織的な情報管理体制の構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
35. リスクコミュニケーションを意識した情報発信のための調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
36. 感染症情報などの増量する文書・情報の適切な保管や管理を指示・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
37. 統括保健師間の横のつながりを活用した最新情報の共有、情報交換、情報整理等	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<情報マネジメント>に関する32～37の項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。
また、32～37以外に必要とされる技術がありましたら、ご記入ください

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (E)

以下のそれぞれの項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* E.<人材管理>に関する項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
38. 感染症対応部署の急激な業務量増加に対応し、自治体内の人員を活用した保健師人員の確保・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
39. 感染症対応で補強を要する保健師の増員や早期採用などを人事部等と交渉・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
40. パンデミック時において公衆衛生看護活動を実践する上でのリスク管理（感染予防対策、トラウマ予防対策等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
41. 感染症対応で疲弊する保健師一人ひとりの健康被害を予防し、モチベーション維持のための声かけや面談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<人材管理>に関する32～41の項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。
また、32～41以外に必要とされる技術がありましたら、ご記入ください

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (F)

以下のそれぞれの項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* F.<人材育成>に関する項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
42. 保健師の適性に配慮し、人材育成を視野に入れた業務配置	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
43. 若手保健師育成のために、ベテラン保健師がモデルを示しながら伴走できる体制整備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
44. 感染症対応の経験を、若手保健師の対人支援力強化の機会とできる体制整備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
45. 保健師の健康危機管理対応力の強化のため、実践に関するリフレクションの機会を確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
46. 新たな感染症に直面した際に、迅速に保健師等看護職が知識・技術を向上できる場を確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
47. 今後の感染症による健康危機を想定し、長期的ビジョンを持った平時からの保健師人材育成体制の整備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
48. 健康危機においても、保健師活動の理念と目標を伝え、アイデンティティを形成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
49. 自身のモチベーション維持のため、統括保健師間のネットワークを作る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<人材育成>に関する42～49の項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。
また、42～49以外に必要とされる技術がありましたら、ご記入ください

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

9. 全体を通してのご意見や、ここまでに記載できなかった内容などがありましたらご記入ください。

調査の質問項目は以上です。
ここまでのご協力をありがとうございました。

この調査の結果により、健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術項目の見直しを行い、再度皆様からご意見をいただく予定です（2回目調査）。
できましたらぜひ、この2回目調査にもご回答をお願いいたします。

* 10. 2回目の調査にもご協力いただけますか？

- はい
- いいえ

メールアドレスは別のフォームでお答えいただけますので、回答内容と結びつけて個人を特定することはありません。
1回目と2回目の調査は、それぞれ独立して行います。1回目と2回目の調査データについて、回答者を識別したり、リンクさせることはありません。
また2回目調査のためにお知らせいただいたメールアドレスは、調査終了と同時に全て削除します。
調査目的以外にメールアドレスを使用することはありません。

前へ

次へ

2回目調査へのご協力をありがとうございます

2回目調査のご連絡をさせていただきますので、
以下のリンクにアクセスして、別のフォームからメールアドレスをお知らせください。

なお、リンクをクリックするとこの調査は終了となります。
回答を見直したり、修正したい場合は「前へ」のボタンで戻ってください。
(なお、「次へ」ボタンを押しても前のページに戻ります)

[メールアドレス回答フォームはこちらです](#) (クリックでジャンプします)

前へ

次へ

健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術の明確化に関する研究

2回目の調査にご協力いただきましてありがとうございます。

1回目の調査には、300名（回収率58.9%）の方にご回答いただき、196名の方に2回目調査へのご協力の承諾をいただきました。

1回目調査では、49項目中、採択基準としていた80%以上の方に「妥当」と判断していただいた項目は45項目でした。残りの4項目は75%～80%の方に「妥当」と判断していただきました。調査結果の概要は、別紙をご参照ください。

また、文言について多くのご意見をいただきましたので慎重に検討し修正を加え、48項目に整理しました。（1回目調査からの変更部分は、下線で示しております。）

1回目の調査のご意見を踏まえ研究班の整理した48の技術項目それぞれについて、改めて、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から一つ選んでください。また、各技術項目が特に必要とされる時期にチェック（複数記載可）を入力してください。

※1回目の調査では、それぞれの技術項目に対して、「自分はその立場にない」「組織として決定していくべきもの」というご意見が散見されました。

今回は改めて、ご自分の立場や配置されている部署等により実践できるか否かに関わらず、「統括保健師として必要な技術（基本的に備えておく必要がある技術）」としてお考えいただきご回答ください。

回答期限 2023年12月22日（金）24時まで → 29日（金）24時まで（延長）

調査協力に同意をいただける場合には「次へ」ボタンで進んでください。
回答をもって調査への同意を得たものと判断させていただきます。

なお、**回答は一時保存ができません**ので、あらかじめ以下の調査内容をご確認の上、回答する内容を整理してから入力いただくことをお勧めします。

[○調査項目一覧（PDF）ダウンロード](#)

次へ

回答される方についてお尋ねします。

* 1. 所属自治体の種別を教えてください。

- 都道府県
- 政令指定都市
- 特別区
- 中核市
- 保健所設置市

* 2. 回答者の現在の所属を教えてください。

- 本庁
- 保健所
- 保健センター
- その他(具体的に)

* 3. 所属保健所の管内人口(併任の方は主たる所属の管内人口)を教えてください。

- 50万人以上
- 20万人以上50万人未満
- 10万人以上20万人未満
- 5万人以上10万人未満
- 5万人未満

* 4. 回答者の立場を教えてください。

- 統括保健師(事務分掌等に明記あり)
- 統括保健師(事務分掌等に明記なし)
- 統括的な役割を担う保健師
- その他(具体的に)

* 5. 現在の職位を教えてください。

部局長級

次長級

課長級

課長補佐級

係長級

係員

* 6. コロナ関係業務への関与を教えてください。
(最も関わっていた時期について回答ください)

かなり関わった

多少関わった

ほとんど関わらなかった

その他(具体的に)

* 7. 保健師としての経験年数を教えてください(単位:年) ※半角数値を入力

* 8. 保健師としてのキャリアレベルを教えてください。

管理期

中堅期

その他(具体的に)

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (A)

以下のそれぞれの技術項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* A. <組織マネジメント>に関する技術項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
1. 地域住民の暮らしを守るため、個別支援活動や保健事業等の公衆衛生看護活動の優先順位を判断し自組織の方向性を決定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 新たな感染症への対応力向上に向けた、課・系の組織を越えた保健師同士の支援の仕組みの構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 新たな感染症対応における保健師以外の職種への業務移行の可否を判断	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. チーム一丸となって業務に取り組める様、職員のモチベーションをあげ、活性化させるリーダーシップの発揮	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 自治体内の各種会議の開催・参加による感染症対応の情報共有と方向性の確認による全所（全庁）体制構築の補佐	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 保健所長など指示命令を担う者の補佐・遂行に向けた調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<組織マネジメント>に関する1～6の技術項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (A) 時期

この技術項目が特に必要とされる時期にチェックしてください（複数回答）

* A.<組織マネジメント>に関する技術項目についてお尋ねします。

	国内発生早期	流行初期 (発生公表 後3か月ま で)	流行初期以 降	わからない
1. 地域住民の暮らしを守るため、個別支援活動や保健事業等の公衆衛生看護活動の優先順位を判断し自組織の方向性を決定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 新たな感染症への対応力向上に向けた、課・系の組織を越えた保健師同士の支援の仕組みの構築	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 新たな感染症対応における保健師以外の職種への業務移行の可否を判断	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. チーム一丸となって業務に取り組める様、職員のモチベーションをあげ、活性化させるリーダーシップの発揮	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 自治体内の各種会議の開催・参加による感染症対応の情報共有と方向性の確認による全所（全庁）体制構築の補佐	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 保健所長など指示命令を担う者の補佐・遂行に向けた調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (B)

以下のそれぞれの技術項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* B.<業務マネジメント>に関する技術項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
7. 新たな感染症対応の進捗状況を把握し、業務の優先順位を整理し判断	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 新たな感染症対策において、常勤保健師が主として担うべき専門的業務を見極め優先的に配置	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 保健師の業務負担を考慮した上で、自治体全体を視野に入れた業務調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

10. 公衆衛生看護の専門的判断を要しない感染症対応業務への人材（派遣看護師等）活用の判断・助言・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. 変化する局面を捉え、先を見据えた業務（電話相談、疫学調査、PCR検査所の設置、クラスター発制、健康観察など）遂行のためのチーム編成の提言・推進	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. 所内全体の感染症対応業務の進行状況の情報共有と業務量の可視化の提言・推進	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. 過重な業務量・業務時間を把握し状況に応じた勤務体制の変更等による軽減策の提示（勤務基準の作成など）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14. 職員の業務負担の軽減のため、デジタル化を含めた効率化を推進	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15. ICT（HER-SYS、電子カルテ等）の活用を推進するため、保健師等看護職の研修開催の提案と参加機会の確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16. 新たな感染症対応を機に保健師に求められる役割を可視化し、自治体における保健師活動の理解を図る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17. 新型コロナウイルス感染症に係る保健活動で得られた知見を活用した今後の健康危機管理対処計画等の参画	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18. 感染症対応のための物的・人的資源の必要性を判断し予算担当部署に働きかける	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19. 応援者が役割を發揮できる様なマニュアル作成やオリエンテーション等の遂行を管理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20. 自治体内（所内）で不足する保健師等を担当部署と調整し、大学や地域の関連施設等に応援を依頼	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21. 外部の専門家人材（感染症認定看護師や、実地疫学調査専門チーム等）の導入の判断・提案・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<業務マネジメント>に関する7～21の技術項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (B) 時期

この技術項目が特に必要とされる時期にチェックしてください（複数回答）

* B.<業務マネジメント>に関する技術項目についてお尋ねします。

	国内発生早期	流行初期 (発生公表後3か月まで)	流行初期以降	わからない
7. 新たな感染症対応の進捗状況を把握し、業務の優先順位を整理し判断	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 新たな感染症対策において、常勤保健師が主として担うべき専門的業務を見極め優先的に配置	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 保健師の業務負担を考慮した上で、自治体全体を視野に入れた業務調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 公衆衛生看護の専門的判断を要しない感染症対応業務への人材（派遣看護師等）活用の判断・助言・調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 変化する局面を捉え、先を見据えた業務（電話相談、疫学調査、PCR検査所の設置、クラスター発制、健康観察など）遂行のためのチーム編成の提言・推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 所内全体の感染症対応業務の進行状況の情報共有と業務量の可視化の提言・推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 過重な業務量・業務時間を把握し状況に応じた勤務体制の変更等による軽減策の提示（勤務基準の作成など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 職員の業務負担の軽減のため、デジタル化を含めた効率化を推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. ICT（HER-SYS、電子カルテ等）の活用を推進するため、保健師等看護職の研修開催の提案と参加機会の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 新たな感染症対応を機に保健師に求められる役割を可視化し、自治体における保健師活動の理解を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 新型コロナ感染症に係る保健活動で得られた知見を活用した今後の健康危機管理対応計画等の参画	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 感染症対応のための物的・人的資源の必要性を判断し予算担当部署に働きかける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 応援者が役割を発揮できる様なマニュアル作成やオリエンテーション等の遂行を管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20. 自治体内（所内）で不足する保健師等を担当部署と調整し、大学や地域の関連施設等に応援を依頼	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21. 外部の専門家人材（感染症認定看護師や、実地疫学調査専門チーム等）の導入の判断・提案・調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (c)

以下のそれぞれの技術項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* c. <地域マネジメント>に関する技術項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
22. 感染症以外のケアニーズを見逃さず、支援が届く体制の構築（公正な対応）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23. 感染者の孤立予防を意識し、関係機関との支援体制づくりを提案、構築、支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24. 地域住民へ感染症に関する正しい知識・情報の伝達のための区市町村との協力体制の構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
25. 地域の関係団体・医療機関等の対応状況の把握及び対策への反映	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
26. 新たな感染症対応が可能な医療・福祉機関を発掘し、患者の受入れやクラスター対応等への協力に向けた調整や支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
27. 地域全体の感染対応力の底上げのため、クラスターリスクがある施設への感染管理対応力向上に向けた支援体制の構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
28. 医師会や管内医療機関等との信頼関係を基盤とした、自宅療養者の医療支援体制の構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
29. 新たな感染症対応後の継続した連携協働体制を見据え、地域の看護職団体・施設（助産師会や訪問看護ステーション）への業務委託等を検討、本庁部門への提案	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30. 新たな感染症対応を契機に感染症の地域ケア体制構築に向け、保健医療福祉機関との密なネットワークを構築	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<地域マネジメント>に関する22～30の技術項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (c) 時期

この技術項目が特に必要とされる時期にチェックしてください（複数回答）

* c. <地域マネジメント> に関する技術項目についてお尋ねします。

	国内発生早期	流行初期 (発生公表 後3か月ま で)	流行初期以 降	わからない
22. 感染症以外のケアニーズを見逃さず、支援が届く体制の構築 (公正な対応)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23. 感染者の孤立予防を意識し、関係機関との支援体制づくりを 提案、構築、支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24. 地域住民へ感染症に関する正しい知識・情報の伝達のための 区市町村との協力体制の構築	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25. 地域の関係団体・医療機関等の対応状況の把握及び対策への 反映	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26. 新たな感染症対応が可能な医療・福祉機関を発掘し、患者の 受入れやクラスター対応等への協力に向けた調整や支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27. 地域全体の感染対応力の底上げのため、クラスターリスクが ある施設への感染管理対応力向上に向けた支援体制の構築	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28. 医師会や管内医療機関等との信頼関係を基盤とした、自宅療 養者の医療支援体制の構築	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29. 新たな感染症対応後の継続した連携協働体制を見据え、地域 の看護職団体・施設（助産師会や訪問看護ステーション）への業 務委託等を検討、本庁部門への提案	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30. 新たな感染症対応を契機に感染症の地域ケア体制構築に向 け、保健医療福祉機関との密なネットワークを構築	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (D)

以下のそれぞれの技術項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* D.<情報マネジメント>に関する技術項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
31. 国内外の感染症の動向と、国の方針および他自治体や保健所の対応を把握し自組織の対策に生かす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
32. 感染状況の可視化に向けた疫学的な分析のための情報収集と資料化を指示・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
33. 感染者が偏見・差別にさらされないように、個人情報保護や権利擁護が組織的に行われるよう助言・協力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
34. 住民や関係機関の感染不安を軽減できるリスクコミュニケーションを意識した情報発信のための調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
35. 感染症情報などの増量する文書・情報の適切な保管や管理が行えるよう、意見や助言・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
36. 統括保健師間の横のつながりを活用した最新情報の共有、情報交換、情報整理等	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<情報マネジメント>に関する31~36の技術項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (D) 時期

この技術項目が特に必要とされる時期にチェックしてください（複数回答）

* D.<情報マネジメント>に関する技術項目についてお尋ねします。

	国内発生早期	流行初期 (発生公表 後3か月ま で)	流行初期以 降	わからない
31. 国内外の感染症の動向と、国の方針および他自治体や保健所の対応を把握し自組織の対策に生かす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
32. 感染状況の可視化に向けた疫学的な分析のための情報収集と資料化を指示・調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33. 感染者が偏見・差別にさらされないように、個人情報保護や権利擁護が組織的に行われるよう助言・協力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
34. 住民や関係機関の感染不安を軽減できるリスクコミュニケーションを意識した情報発信のための調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
35. 感染症情報などの増量する文書・情報の適切な保管や管理が行えるよう、意見や助言・調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
36. 統括保健師間の横のつながりを活用した最新情報の共有、情報交換、情報整理等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (E)

以下のそれぞれの技術項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* E.<人材管理>に関する技術項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
37. 感染症対応部署の急激な業務量増加に対応し、自治体内の人員を活用した保健師人員の確保・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
38. 感染症対応で補強を要する保健師の増員など、所属または組織内の人事担当に提案・調整	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
39. パンデミック時において公衆衛生看護活動を実践する上でのリスク管理（感染予防対策、トラウマ予防対策等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
40. 感染症対応で疲弊する保健師一人ひとりの健康被害を予防し、モチベーション維持のための声かけや面談	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

＜人材管理＞に関する37～40の技術項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について（E）時期

この技術項目が特に必要とされる時期にチェックしてください（複数回答）

* E.＜人材管理＞に関する技術項目についてお尋ねします。

	国内発生早期	流行初期 (発生公表 後3か月ま で)	流行初期以 降	わからない
37. 感染症対応部署の急激な業務量増加に対応し、自治体内の人員を活用した保健師人員の確保・調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
38. 感染症対応で補強を要する保健師の増員など、所属または組織内の人事担当に提案・調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
39. パンデミック時において公衆衛生看護活動を実践する上でのリスク管理（感染予防対策、トラウマ予防対策等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
40. 感染症対応で疲弊する保健師一人ひとりの健康被害を予防し、モチベーション維持のための声かけや面談	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (F)

以下のそれぞれの技術項目について、

「感染症の健康危機管理において統括保健師に必要とされる技術」として妥当かどうか、「妥当である」「やや妥当である」「あまり妥当ではない」「妥当ではない」から1つ選んでください。

* F.<人材育成>に関する技術項目についてお尋ねします。

	妥当である	やや妥当である	あまり妥当ではない	妥当ではない
41. 保健師の適性に配慮し、人材育成を視野に入れた業務配置	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
42. 若手保健師育成のために、ベテラン保健師がモデルを示しながら伴走できる体制整備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
43. 感染症対応の経験を、若手保健師の対人支援力強化の機会とできる体制整備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
44. 保健師の健康危機管理対応力の強化のため、実践に関するリフレクションの機会を確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
45. 新たな感染症に直面した際に、迅速に保健師等看護職が知識・技術を向上できる研修等開催の提案と参加機会の確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
46. 今後の感染症による健康危機を想定し、長期的ビジョンを持った平時からの保健師人材育成体制の整備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
47. 健康危機においても、保健師活動の理念と目標を伝え、アイデンティティを形成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
48. 自身のモチベーション維持のため、統括保健師間のネットワークを作る	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<人材育成>に関する41~48の技術項目について、「あまり妥当でない」「妥当でない」と回答された方は、項目番号を記載の上、その理由や修正案を記載してください。

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

感染症の健康危機管理において、統括保健師に必要とされる技術について (F) 時期

この技術項目が特に必要とされる時期にチェックしてください（複数回答）

* F.<人材育成>に関する技術項目についてお尋ねします。

	国内発生早期	流行初期 (発生公表 後3か月ま で)	流行初期以 降	わからない
41. 保健師の適性に配慮し、人材育成を視野に入れた業務配置	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
42. 若手保健師育成のために、ベテラン保健師がモデルを示しながら伴走できる体制整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
43. 感染症対応の経験を、若手保健師の対人支援力強化の機会とできる体制整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
44. 保健師の健康危機管理対応力の強化のため、実践に関するリフレクションの機会を確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
45. 新たな感染症に直面した際に、迅速に保健師等看護職が知識・技術を向上できる研修等開催の提案と参加機会の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
46. 今後の感染症による健康危機を想定し、長期的ビジョンを持った平時からの保健師人材育成体制の整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
47. 健康危機においても、保健師活動の理念と目標を伝え、アイデンティティを形成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
48. 自身のモチベーション維持のため、統括保健師間のネットワークを作る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

未回答の項目があるとページが次に進みません。

前へ

次へ

9. 感染症を中心とした健康危機管理において、統括保健師として必要な技術（基本的に備えておく必要がある技術）を、次世代の統括保健師が習得するために必要と思う経験や体制、仕組みづくりにはどのようなものがあればよいと思いますか。お考えをお聞かせください。

10. 最後に、調査を通してのご意見、ご感想などがあれば、ご自由にお書きください。

前へ

次へ

ご回答ありがとうございました

質問はこれで終了です。
ご回答いただきありがとうございました。

回答を見直したい場合は「前へ」ボタンで戻ってください。
「完了」ボタンを押すまでは修正ができます。

「完了」ボタンを押すと、全国保健師長会の調査研究事業のページにジャンプします。
ご協力ありがとうございました。

前へ

完了